

# 宗教と戦争を考える〈4〉

## 内村鑑三の戦争観

講師 岩野 祐介（関西学院大学神学部教授）

無教会主義キリスト教の創始者内村鑑三は、日露戦争に際しての非戦論でも有名です。しかし一方で内村の戦争に関する言説には、現代において批判の対象となっているものもあります。とりわけ、非戦主義者が戦死することを贖罪論と結び付けた1904年の「非戦主義者の戦死」がはらむ問題性については度々指摘されています。たとえば高橋哲哉氏は、そこに内村における「犠牲の論理」を見出し、厳しく批判しています。また弟子のひとり斎藤宗次郎が兵役拒否を宣言した際には、踏みとどまるよう直接説得するため、花巻まで赴いたことも知られています。はたして内村には、非戦論をめぐるぶれ、不徹底があるということなのでしょうか。それぞれの場面場面で、キリスト者内村が、どのように聖書を理解し、それを現実の自らのことば・行動と結び付けたのか、検討し考えたいと思っています。

日時 2017年 11月 11日（土） 13:30～17:30

場所 関西セミナーハウス ※会場への地図は裏面をご覧ください。

参加費 2,300 円、学生 1,000 円（コーヒー込み）

\*要申込み\* 11月8日までに Fax(裏面)、電話、電子メール、WEBフォーム等でお申し込み下さい。

岩野 祐介 いわの ゆうすけ

関西学院大学神学部教授

京都大学大学院文学研究科キリスト教学専修満期退学。文学博士

著書 『無教会としての教会－内村鑑三における「個人・信仰共同体・社会」』（教文館）

共著 土井健司他編著『自死と遺族とキリスト教「断罪」から「慰め」へ、「禁止」から「予防」へ』（新教出版社）

櫻井義秀他編著『よくわかる宗教学』（ミネルヴァ書房）

関田寛雄他著『平和の神との歩み 1945-2015年』（キリスト新聞社）

- ◎スケジュール◎ 13:30～15:00 挨拶・講師紹介  
 講演・発題  
 15:00～15:30 コーヒーブレイク  
 15:30～17:20 質疑とはなしあい  
 17:20～17:30 まとめとアンケート記入



2017年度 修学院フォーラム これからの予定

- 「社会」 第1回 10月7日(土)「宗教と戦争を考える 3」  
 「キリスト教はなぜ戦争について容認するようになったのか？」  
 講師：土井 健司（関西学院大学神学部教授）
- 第3回 12月予定  
 「若者からの声」（仮） 講師：交渉中
- 第4回 2018年1月7日（日）～8日（月・祝）〈エネルギーを考える第6回〉  
 「フクシマの問いかけにどう応えるか」  
 倫理的視点から 講師：島菌 進（上智大学神学部教授・グリーンケア研究所所長）  
 技術的視点から 講師：吉岡 斉（九州大学教授、福島原発事故政府事故調委員）
- 第5回 2018年2月17日（土）「キリスト教と政治的課題」（仮）  
 講師：佐藤 優（作家・元外務省主任分析官）
- 「いのち」 2018年3月4日（日）  
 「いのちとさんび」（仮）  
 演奏とお話：菅野 万利子（ピアニスト）
- 「福祉」 第2回 2018年3月予定 共催：京都YWCA  
 「子どもの虐待を考える」（仮） 講師：交渉中



【申込み・問合せ】

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー  
 関西セミナーハウス活動センター  
 〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
<http://www.academy-kansai.org>  
 電話 075-711-2117  
 FAX 075-701-5256  
 電子メール office@academy-kansai.org  
 所長 榎本 栄次  
 担当 都木かおり

【会場へのアクセス】



\* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

—————2017年度 修学院フォーラム「社会」第2回 参加申込書—————

(フリガナ)	
名前	所属
住所〒	
電話 ( )	FAX ( )
電子メール:	@
通信欄:	